

# 令和4年自転車指導啓発重点地区・路線

## 1 署別選定数

	青森	八戸	弘前	五所川原	黒石	十和田	三沢	むつ
地区	2	2	1	1		2		
路線	1	1	2		1	1	1	1

	野辺地	つがる	三戸	鯉ヶ沢	七戸	青森南	五戸	外ヶ浜	板柳	大間	合計
地区	1	1		1	1	1			1		14
路線			1				1	1			11

## 2 選定状況

警察署	地区・路線	地区又は路線の名称	路線区間	延長距離(m) <概数>	選定理由
青森	路線	国道4号	柳町交差点～国道合浦公園入口交差点	2,900	通勤・通学などによる自転車の通行量が多く、自転車事故も多発していることに加え、国道乱横断による重大事故も発生している。
〃	地区	青森市東大野・青葉周辺地区	～		大型商業施設、生活関連施設が集中する地区であるが、高校も複数あり、自転車の通行量も非常に多い。自転車事故も多い。
〃	地区	青森市奥野・筒井周辺地区	～		学校が複数あり、通勤、通学などによる車両、自転車、歩行者の通行量が多い上、交通事故も多い。
八戸	地区	八戸市沼館・城下地区	～		生活関連道路であるため、車両の交通量が多く、自転車事故が多発している。
〃	地区	八戸市湊高台・湊町地区	～		道路幅員が狭い地区であるが、自転車通学の中高校生が多く通行し、自転車事故が多発している。
〃	路線	国道454号	内舟渡交差点～合同庁舎前交差点	2,300	高齢者（歩行者・自転車利用者）がよく利用する病院及びスーパーが所在する生活関連道路であり、事故の発生が懸念される。
弘前	路線	県道石川土手町線	弘前市大字富田三丁目7～弘前市大字松原西一丁目2-1	2,000	中高生、大学生の通学路であり、朝夕の自転車の通行量が市内で最も多い路線である。付近住民からの悪質・危険自転車の取締り要望がある。
〃	路線	県道石川百田線	弘前市土手町131～弘前市富田町8-3	1,200	弘前駅周辺の交通量の多い路線であり、高校生や、社会人の自転車の通行量が多い。また、付近住民からの悪質・危険自転車の取締り要望がある。
〃	地区	弘前市南大町一丁目及び弘前東高校前駅周辺地区	～		弘南鉄道の弘前東高校駅があり、高校・中学校の通学路でもあり、自転車の通行量が多い。また、付近住民からの悪質・危険自転車の取締り要望がある。
五所川原	地区	エルムの街の周辺地区	～		車両の交通量が多く、エルムの街を利用する自転車利用者も多いことから、交通事故の発生が懸念される。
黒石	路線	主要地方道大鰐浪岡線	寿町交差点～篠村交差点	2,000	生活関連経路であり、高齢歩行者も多く、その安全を確保する必要がある。
十和田	地区	元町ショッピングセンター周辺地区	～		自転車通行量が多く、自転車事故が多い。
〃	地区	県立三本木高等学校・附属中学校周辺地区	～		自転車通学の中高校生が多く通行し、自転車事故が発生している。
〃	路線	市道（通称北里大学通り）	東三番町みちのく温泉～三本木字里ノ沢バイパス交差点	3,100	大学生の自転車利用者が多く、自転車事故が発生している。
三沢	路線	市道（通称五中通り）	ココス三沢南町店前交差点～青い森鉄道三沢駅	1,500	自転車通学の中高校生が多く、悪質・危険な自転車の取締り要望があるほか、商業施設の多い区間もあり、交通事故の発生が懸念される。
むつ	路線	県道海老川新町線	J R 下北駅～田名部中学校前交差点	1,350	駅から市内中心部へ向かう通勤・通学の自転車の交通量が多く、事故の発生が懸念される。
野辺地	地区	野辺地中学校周辺地区	～		町内唯一の中学校であり、自転車通学の学生が多く、町の中心街に位置することから自動車の交通量も多いため、事故の発生が懸念される。
つがる	地区	イオンモールつがる柏周辺地区	～		店舗周辺は国道・県道があり交通量が多く、自転車利用者が当事者となる事故の発生が他所と比べ突出している地域である。
三戸	路線	県道櫛引上名久井三戸線	三戸町役場～三戸町立三戸小学校	1,000	生活関連経路であり、高齢歩行者が多いほか、通勤時間帯には、登校する小学生と自転車利用者とは交錯する場面が見られ、事故の発生が懸念される。
鯉ヶ沢	地区	鯉ヶ沢駅周辺地区	～		道路幅員が狭い地区であるが、車両、自転車及び歩行者の通行が多く、事故の発生が懸念されるため。
七戸	地区	七戸高校周辺地区	～		高校と小学校が近接し、登校時間帯に、自転車通学の高校生と小学生との接触事故が懸念されるため。
青森南	地区	浪岡駅、浪岡中学校、浪岡高校周辺地区	～		中学・高校があり、自転車利用者が多く上、地域内の車両の交通量が多く、事故の発生が懸念される。
外ヶ浜	路線	国道280号、町道	警察署前交差点～蟹田中学校前	1,400	中学校の通学路であるが、悪質・危険な自転車が見られるほか、車両交通量も多く、事故の発生が懸念される。
五戸	路線	県道五戸六戸線、町道	時計のみうら前交差点～正場沢交差点	1,200	商業施設や公共交通機関が集中した繁華街であり、小学校の通学路でもある。歩行者、車両共に交通量が多いため、交通事故の発生が懸念される。
板柳	地区	J R 板柳駅周辺地区	～		生活関連経路であり、高齢歩行者も多く、その安全を確保する必要がある。また、駅直近であることから通勤・通学の自転車の通行も多い。自転車事故も多い。